

実績紹介コーナー

【駅ピアノをお披露目】



2019年区議会第4回定例会の一般質問で要望していた駅ピアノが、「池袋駅ストリートピアノ@JR大塚駅」として実現しました！



植田志保さん

2020年11月1日「としま文化の日」制定記念事業として、JR大塚駅の南北自由通路に設置され、ウィロードの着彩で知られる美術作家/植田志保さんによるピアノの描画「あおのふるまい」が1週間お披露目されました。期間中、途絶えることなく演奏が行われ、大盛況のお披露目となりました。今春には、池袋駅の商業施設に設置を予定しています！

【登下校メールサービスを開始】



2020年9月、全区立小学校低学年を対象とした「登下校メールサービス」を開始しました！

2017年11月より導入していた学童クラブの児童を対象にした入退室管理システムを大幅に拡充したものです。

児童がICタグをランドセルに入れて校門を通過すると、登録した保護者のメールアドレスに校門通過情報が即時送信され、児童の安全と保護者の安心につながるシステムです。特に児童の下校時間帯は幅があり、登校時に比べると、一人ひとりを見守ることは難しいことから、対象を高学年までに拡大するよう要望してまいります！



【学童クラブ在籍児童の訪問型病児・病後児保育利用助成を開始】



訪問型病児保育助成については、2018年に年間10万円に拡充実現。さらに、小学校に入学した途端に、急病による預け先がなくなるという小1ギャップを訴える保護者の声を受け、同年の決算特別委員会で、対象者を小学生までに拡大するよう要望。そして、2020年度より、学童クラブ在籍児童が、病気等により小学校に登校することが困難な時に、ベビーシッターの派遣等による病児・病後児保育サービスを利用した保護者にも児童1人当たり、年間5万円を上限に利用料の半額が助成されることになりました！

詳細は、豊島区ホームページをご覧ください。



病児・病後児保育サービス



【住所】〒171-0043 東京都豊島区要町2-5-13 【電話&FAX】03-3974-7736 【メールアドレス】k_tsuji@a.toshima.ne.jp
【公式HP】<http://kaoru-tsuji.com/> 【ブログ】[辻かおるの出前通信](#) 検索 [フェイスブック・辻かおる](#) 随時投稿しています！

【発行者】公明党豊島区議団 豊島区南池袋2-45-1 電話 3981-1428 ◆ 令和3年1月

辻かおる 出前通信

豊島区議会報告
第36号

辻かおるにお気軽にご相談下さい。また、お気付きの点などご一報頂ければ幸いです。



一人の声から政策実現！

スピード第一！
現場第一！

「実現しましたマーク」
どんどん増やしていきます！



2030年へ 誰もが笑顔あふれる豊島区に！

昨年、公明党の強力な推進により、豊島区は、「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」の東京都で初のダブル選定を受けました。国連全加盟国が、政治的イデオロギーや、軍事的・経済的パワーの違いを超越して賛同したSDGs(持続可能な開発目標/キーワードは「誰一人取り残さない」)の達成を目指し、「誰もが笑顔あふれる豊島区」を実現してまいります！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs17目標アイコン

「自治体SDGsモデル事業」の第一弾として、としま緑の防災公園(イケ・サンパーク)のグランドオープンに合わせて、「イケ・サンパーク ファーマーズマーケット」がスタートしました。新鮮な農産物等を購入できる、区民の台所のような場となり、新たな日常として、「住みたいまち」の魅力づくりを進めていきます。



としま緑の防災公園グランドオープン



ファーマーズマーケット(2020.12.12)

※誰一人取り残さない! 食材活用の取組みについて

野菜などが売れ残った場合は、一部を買い取り、ひとり親家庭や経済的に厳しく、子どもの養育に困難を抱えている家庭などの支援に活用して、食品ロスへの対応や誰一人取り残さない取組みを推進していくことにしています。



「2030年 誰もが笑顔あふれる豊島区に！」と題し、SDGsをベースに、6項目にわたって一般質問を行いましたので報告致します。



西武池袋本店が大型垂れ幕で紹介！



1. SDGs目標達成に向けての取り組みについて

Q1 中央図書館で実施中の児童向けSDGs企画展示を、大人も対象として地域館でも実施し、また、区民ひろば等でも区民に周知できる取り組みを要望する。

A1 地域館、区民ひろば、エポック10などでも、大人も対象にした企画展示を検討する。



2. 住まいと暮らしを確保する居住支援の強化について

Q1 福祉と住宅の関係部署が連携し、低廉な家賃で入居できる住まいの開拓や入居にかかわるマッチング等を進める居住支援法人やNPO等の活動状況の情報共有を進めるよう要望する。

A1 今後、関連部局を拡大し効果的な入居支援につながるよう検討を重ねる。また、豊島区居住支援協議会のネットワークを活用し、情報共有を深める。

Q2 コロナ禍で、複雑な課題やリスクを抱えている方々を誰ひとり取り残さないというSDGs未来都市として、国の重層的支援体制整備事業に速やかに取り組むべき。

A2 ワンストップで対応する「断らない相談窓口」を実践している。さらに、分野を横断してワンチームで課題解決を図っていく取り組みを開始した。速やかに国に申請準備を進め充実を図っていく。



「断らない相談窓口」イメージ



3. フレイル対策について

Q1 高齢者の口腔機能の保持増進のため、高齢者口腔機能健診及び健診後のフォローの実施を要望する。

A1 早期に、高齢者歯科健診事業が実施できるよう歯科医師会と協議する。歯科健診及び健診後の積極的な保健指導体制まで組み込んだ新たな健診は、特別区においても例のない取り組みとなる。



4. GIGAスクール構想の推進について

Q1 児童生徒と同機種タブレットパソコンを早期に教員に支給する必要があると考えるが。

A1 12月中に各校2台程度、教員に配付し、今後も台数を増やす。



タブレットPC(見本)

立てて使用することも可能

(写真・豊島区提供)

Q2 不登校の児童生徒で、希望する児童生徒が自宅等で学習した場合の出席扱い制度の推進を図るよう要望する。

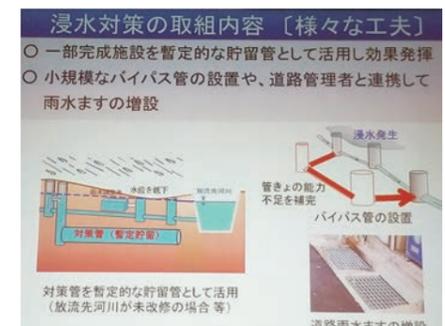
A2 教育委員会としては、不登校児童生徒が自宅等でICTを活用した学習に取り組んだ内容についても積極的に評価した上で、出席扱いを適切に校長が判断するよう指導していく。



5. 高松地区の浸水対策について

Q1 SDGsの選定を受けた今、改めて東京都と連携の上、同地区の浸水対策に取り組むよう要望する。

A1 下水道局は、高松地区の現地調査を実施し、雨水流出のシミュレーション解析を行いながら、浸水被害の原因を特定する作業を進めており、令和2年度末までに対策案を策定する予定。区としても引き続き降雨量データを提供する等の協力を行い、浸水対策の早期実現に努めていく。



東京都河川改修促進大会より



6. 「お悔やみ案内コーナー」設置の進捗状況について

Q1 昨年要望していた「お悔やみ案内コーナー」設置の検討状況は。

A1 現在、糸島市のシステム事例を参考に、具体的な運用を想定し、関係課との詰め調整を行っており、来年度の早い時期に、利便性の高いコーナーを開設すべく準備を進めていく。



糸島市役所お悔やみ案内コーナー

